

「こども110番の車」運動への取組みについて

平成18年2月17日

1. 「こども110番の車」運動の趣旨

昨今、こどもたちが登下校時等にトラブルに巻き込まれる事件が多く発生し、社会問題となっており、こどもの安全を守るためには地域社会全体の取組みが求められています。

こうした状況の中、地域に存立の基盤を置く北陸電力グループとして「こども110番の車」運動に取組み、トラブル発生の抑止力となり、併せて不審者を作らない環境整備により地域社会に貢献することを目的としています。

2. 「こども110番の車」運動の内容

社有車に「こども110番の車」のマグネットシートを貼り、こどもたちが登下校時などに「不審者からの声かけ、付きまとい行為」等の被害を受けて身の危険を感じた際、北陸電力グループの車がその場に居合わせたときには、従業員が一時的に保護して警察に通報（110番）するなど適切な対応をとります。

こどもたちの安全の確保を推進するとともに、社内では「こども110番の車」対応マニュアルを作成配布し、こども防犯意識の高揚を図っていきます。

(1) 社有車への「こども110番の車」マグネットシートの設置

- ・社名入りの社有車全数に2枚ずつマグネットシートを貼付
【縦20cm×横30cm、(車1500台×2枚:リビングサービス、保安協会含む)】

(2) 「こども110番の車」対応マニュアルの社内配布

- ・役割・必要性、環境作り、助けを求めてきた時の対応について記載

(3) 開始日：平成18年2月17日(金)

(4) 出発式(セレモニー)の実施について

- ・開始日当日、県、警察ご当局ご出席のうえ3支店5支社(富山支店、石川支店、福井支店、高岡支社、魚津支社、七尾支社、小松支社、丹南支社)、3営業所(神岡営業所、敦賀営業所、奥越営業所)にて出発式を開催
- ・各事業所で懸垂幕・横断幕を掲出

(5) 幼稚園、小学校への周知

- ・各県教育委員会のご協力のもと、こどもたちや保護者に周知するためのちらしを配布

3. 運動の定着方策

(1) 責任者の届出

- ・事業所ごとにマグネットシートの管理責任者を定め、管轄する警察署に届出

(2) キャンペーンの実施

- ・運動の定着を図るため「防犯の日」などに合わせて推進キャンペーンを実施